

協賛機関挨拶

一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 研究主幹

上田 真由美

第22回ヘルスリサーチフォーラムの協賛機関を代表して、一言ご挨拶を申し上げます。

まず始めに、これまで多年にわたり国民一人一人のクオリティー・オブ・ライフの向上に向けて、保健・医療・福祉の各分野における学際的かつ問題解決型の研究の推進に、非常に幅広い、また充実した内容の研究助成を継続されてこられたファイザーヘルスリサーチ振興財団様のご貢献に対して、深く敬意を表するものでございます。

また、本日のヘルスリサーチフォーラムが大変充実した内容で開催されておりますことを、心からお慶び申し上げます。

皆様方ご案内のとおり、わが国は国民皆保険の達成から半世紀以上が過ぎ、急速な少子高齢化・人口減少の進展や、国家財政上の制約に直面しております。また、医療技術の向上や地域社会の変化など、社会環境も大きく変化してきております。こうした中、国民一人一人の一生涯を通じた健康を支える、持続可能な社会保障制度をどのように実現していくのかということが、現在そして今後も、日本にとって最も重要な課題の一つとなっております。

このような課題に立ち向かっていくためには、さまざまな立場の関係者が協力し、新たな視点や価値を見い出しながら、多面的に取り組んでいくことが求められておりますが、特に現場の実践を視野に入れた調査研究の着実な積み重ねは、政策の方向性を見定め、具体的な実現につなげるための、必要不可欠な、大変重要な基盤となってまいります。

本日のフォーラムにおきましても、実態の調査分析や実践モデルの開発、国際比較研究など、多岐にわたる研究成果が発表されておりますが、このような調査研究の蓄積が、今後の日本におけるヘルスケアの充実に向けて大きな原動力になっていくことが期待されております。そのような点からも、ファイザーヘルスリサーチ振興財団様の活動は、今後ますます社会的に重要なものとなり、かつ、多くの期待が寄せられるものと考えております。

さて、今回も協賛をさせていただいております私ども医療経済研究機構は、わが国における社会保障制度・医療経済・医療政策に関する研究を促進することを目的とした研究機関です。弊機構では、調査研究事業のほか、研究会やシンポジウムの開催、月刊誌・機関誌の発行などの普及・啓発事業、そして小規模ではございますが、若手研究者を対象とした研究助成などを行う基盤整備事業に取り組んでおります。

弊機構といたしましては、微力ではございますが、今後もファイザーヘルスリサーチ振興財団様と連携を図り、お互いの特色や強みを生かしながら、ヘルスケアリサーチの分野における調査研究を振興し、共に社会に貢献できればと願っております。

最後に、本日のヘルスリサーチフォーラムが、今後のわが国におけるヘルスケア研究をさらに推進していく契機となりますとともに、本日ご参加された皆様方の今後の研究や、さまざまな現場での取り組みの発展につながっていくことを心から祈念申し上げまして、私からのご挨拶とさせていただきます。

本日はおめでとうございます。